

2021 年 7 月 14 日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
代表取締役社長 辻田 泰徳
東京都千代田区麴町5-1-1

芙蓉リースグループ 2030 年カーボンニュートラル宣言 ～ RE100 達成時期も 2030 年に前倒し～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 辻田 泰徳）は、グループとして持続可能な社会の構築に向けた脱炭素への取り組みについて、RE100 における事業電力の再生可能エネルギーへの 100% 転換達成時期を当初発表の 2050 年より 20 年前倒して 2030 年とするとともに、温室効果ガス全体の削減の取り組みを強化し、2030 年に「カーボンニュートラル」を同時に達成する目標を新たに設定いたしました。

推進にあたっては、本年 4 月より麴町本社ビルでグループが使用する電力を全て RE100 適合の実質再エネに転換したことをはじめ、他の事業所等においても再エネ化を進めるとともに、社用車については今後計画的に電気自動車（EV）等の導入推進を図ることを通じてその実現を目指してまいります。

事業面においては引き続き、お客さま・地域へのサービス提供を通じた脱炭素社会推進への貢献を進めてまいります。

芙蓉リースグループ カーボンニュートラル・RE100 への取り組み

グループの脱炭素化の実現

2030 年 カーボンニュートラル達成（CO₂ ※排出量実質ゼロ）※Scope 1, 2

2030 年 RE100（再エネ 100%）達成（中間目標：2024 年 再エネ 50%）

お客さま・地域へのサービス提供を通じた脱炭素化への貢献

① 再エネ発電事業 ⇒ 国内外の再生可能エネルギー発電事業への参画の拡大

② 再エネ関連インフラの普及推進

・PPA（グリーン電力供給サービス）導入

・電気自動車（EV）および充電機器の導入 等

⇒ 「芙蓉 再エネ 100 宣言・サポートプログラム」「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」等を通じてお客さま・地域の再エネ導入、脱炭素化を支援いたします

③ 再エネ関連技術への投資、事業化・商業化のサポート ⇒ 有望な技術への投資と支援を継続

FUYO LEASE GROUP

芙蓉リースグループは、社会課題の解決に貢献し、同時に企業としての成長を目指すCSV（共有価値の創造：Creating Shared Value）の考え方を実践し、持続可能な社会づくりに取り組んでまいります。



以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）木村・山崎

電話番号 03（5275）8891 URL <https://www.fgl.co.jp/>